

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	高齢者福祉施設整備費補助事業	所管	保健福祉部 高齢者支援課
			TEL 2998-9120

事業の目的 (何の為に 行うか)	高齢者福祉施設を日常生活圏域ごとに計画的に整備し、地域の高齢者及びその家族の福祉の向上、負担の軽減を図る。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	法人によって整備計画(創設・増築・改築・改修)された高齢者福祉施設	対象とした数	3	施設
		実際に 利用した数	3	施設

活動の内容	(何を したか)	<p>高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画において予定され、高齢者保健福祉計画推進会議において承認された高齢者福祉施設について、厚生労働省に交付金申請を行い、交付決定された施設について市の補助金として支給する。また、これらとは別に特別養護老人ホームについては、上記交付決定に関連して市費で補助金の支給を行う。</p> <p>なお、医療制度改正の一環として、平成23年度をもって介護療養型病床が廃止となる予定であるが、国の交付金要綱が改正され、介護療養型施設の転換事業についても交付金の対象となったことから、これを活用して、平成20年度に市内介護療養型施設1ヶ所の56床が介護老人保健施設に転換されることとなっている。</p>								
	活動実績	項目名	①当初予算	100000	項目名	②決算	61770	項目名		単位
			----- 単位 千円			----- 単位 千円				----- 単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	100,000	61,770	63,649	187.7

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	計画に対する実行率	②/①×100	100	61.77	61.8
			----- 単位 %	----- 単位 %	----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 []
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [] 終了				
		予算	現状どおり 増額 減額 終了			

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	040400	TEL	2998-9120
事業コード	高齢者福祉施設整備費補助事業					
040416						
開始年度		平成 17 年度	—	終了年度	平成 年度	

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託＋附加			根拠法令				
	分野別計画・指針	所沢市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画			地域における公的介護施設等の計画的な整備等の促進に関する法律、所沢市高齢者福祉施設整備費補助金交付要綱				
	関連・類似事業								
	総合計画の体系	政策	第3章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち	施策	3節 高齢者福祉	中柱	1 いいききと暮らすための支援・サービスの充実	小柱	(4) 高齢者福祉施設の整備
	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 1 位		・実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○						
行政改革大綱における行動計画への位置づけ									
コード		計画段階からの市民参加の充実		コード					
事業開始の背景		国の三位一体改革に伴う補助金制度の見直しにより従来の国・県による補助制度が廃止され、平成17年度より「地域介護・福祉空間整備等交付金」が創設された。							

③事業の内容	目的(何のために、具体的に)						
	高齢者福祉施設を日常生活圏域ごとに計画的に整備し、地域の高齢者及びその家族の福祉の向上、負担の軽減を図る。						
	対象(誰を、何を対象としているのか)			利用数の考え方			
	法人によって整備計画(創設・増築・改築・改修)された高齢者福祉施設			当該補助制度を利用して整備された施設数			
	対象数	単位	平成 18 年度	5	施設	平成 19 年度	3
		平成 19 年度	3	施設	平成 19 年度	3	施設
事業の具体的な内容及び実施方法							
高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画において予定され、高齢者保健福祉計画推進会議において承認された高齢者福祉施設について、厚生労働省に交付金申請を行い、交付決定された施設について市の補助金として支給する。また、これとは別に特別養護老人ホームについては、上記交付決定に関連して市費で補助金の支給を行う。 なお、医療制度改正の一環として、平成23年度をもって介護療養型病床が廃止となる予定であるが、国の交付金要綱が改正され、介護療養型施設の転換事業についても交付金の対象となったことから、これを利用して、平成20年度に市内介護療養型施設1ヶ所の56床が介護老人保健施設に転換されることとなっている。							

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>					
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())				
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)				
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
平成19年度中に改善した点						
国の要綱改正に伴って市要綱の改正を行い、交付対象となる事業の拡大を図った。						

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		82,500	100,000	28,000	
	決 算 (見込み含む)		89,500	61,770		
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (人) (人) (人)				
	正規職員人件費		0.50 人 4,600	0.20 人 1,879		
	公債費					
	事業費合計		94,100	63,649		
	財源内訳	一般財源		39,100	1,879	0
		国・県支出金		55,000	61,770	28,000
		受益者負担金				
市債						
その他						
市民一人当たり(単位:円)		278.5	187.7			
利用数一単位あたり(単位:円)		31,366,666.7	21,216,266.7			

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	①当初予算	当初予算	千円	82,500	100,000	28,000	
		②決算	決算	千円	89,500	61,770	28,000	
	成果分析	計画に対する実行率	②/①×100	目標値	100	100	100	
実績				108.48	61.77		実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2	
達成率				108.5	61.8		1	

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無	見直しの必要性
<input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業 <input type="checkbox"/> 統合等必要なし		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
明らかとなった課題	19年度において建設を予定していた法人が事業辞退したことにより、補助金交付の執行ができないケースが生じており、高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に位置づけられた事業であることから、代替で事業を実施する法人について早急な検討が必要となっている。				
評価理由	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)		
	平成20年度における目標設定	地域密着型特別養護老人ホーム等の高齢者施設について、整備を進める。	第3期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に位置づけられた高齢者施設について、国の交付金を活用して整備を行う。	平成21年3月	
	平成21年度における事業の方向性				
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())			
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
高齢者福祉施設に対する需要は年々増加しているが、その整備については、高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画により計画的に位置づけていくものである。また、その計画の進捗管理も重要であることから、施設整備を行う事業者に対して指導を徹底していく。					
評価日	平成20年5月2日	記入者職氏名	高齢者支援課長 鏡 諭		

⑧二次評価	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性			
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 終了			
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
	評価理由	評価日			
年度内事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い
	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業			
評価理由	評価日				

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し		計画コード	
	施策の体系				
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し		計画コード	
	基本目標				
主要課題					
施策の方向					